



シルバーパス 実質無償化を

“元気高齢者”
の街・荒川へ

荒川総支部長

けいの信一が滝口区長に要望



都内で唯一、荒川区の「シルバーパス」実質無償化の実現を——東京都議会議員のけいの信一・荒川総支部長が5月20日、荒川区の滝口学区長に対し「物価高騰対策に関する緊急要望書」を提出し、「シルバーパスの実質無償化」を強く要望しました。滝口区長は「区民の希望を受け止め、前向きに検討する」と応じ、けいの信一は「物価高から生活を守り、高齢の方が元気に暮らせる荒川区に」と期待を語りました。

70 歳以上の都民が公共交通機関を無料で利用できる「シルバーパス」。これまで課税世帯で年額20,510円の自己負担が必要でした。都議会公明党の主張を受け、都では今年度の発行・更新から負担額が12,000円まで引き下げに。区が残る負担分を補助する実質無償化が実現すれば、都内では荒川区だけの取り組みとなります。今後は区の補正予算成立を経て、10月1日から新たな料金体系が開始する見込み。



夏の水道基本料金0円に

都議会公明党の要望受け実現

夏 の水道基本料金無償化で、いのちを守る暑さ対策を——東京都議会公明党のけいの信一・都議らは5月19日、小池百合子・東京都知事に対し、「夏の水道基本料金無償化」を求める要望書を提出

しました。これを受け、都は今夏4カ月間にわたり、一般家庭向けの水道基本料金を無償化する方針を発表。一般的な家庭においては、1世帯あたりおよそ5,000円の光熱費軽減が見込まれます。

